

製品名: リン酸化フィラミン A/B (Ser2152/Ser2107) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84902

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 278 kDa; Observed MW: 281 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-Filamin A/B (Ser2152/Ser2107)
別名	FLN; FMD; MNS; OPD; ABPX; CSBS; CVD1; FGS2; FLN1; NHBP; OPD1; OPD2; XLVD; XMVD; FLN-A; ABP-280
遺伝子 ID	2317.0
SwissProt ID	O75369
免疫原	ヒトフィラミン A の Ser2152 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

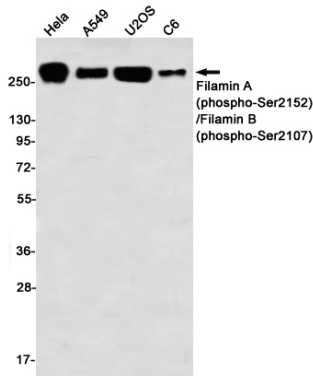
背景

細胞膜の構成要素をアクチン細胞骨格に接続します。

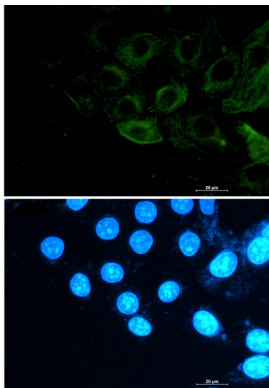
研究分野

MAPK シグナル伝達経路

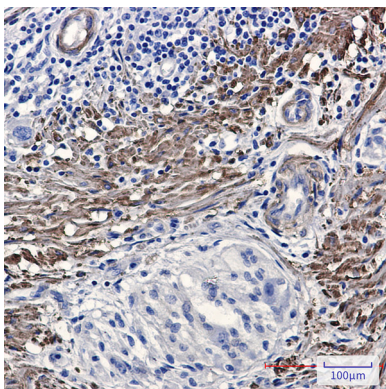
画像データ



フィラミン A (リン酸化 Ser2152)/フィラミン B (リン酸化 Ser2107) 抗体を使用した、HeLa、A549、U2OS、C6 溶解物中のフィラミン A (リン酸化 Ser2152)/フィラミン B (リン酸化 Ser2107) のウエスタン プロット分析。



リン酸化フィラミン A/B (Ser2152/Ser2107) (緑) をリン酸化フィラミン A/B (Ser2152/Ser2107) 抗体および DAPI (青) を用いて A549 で免疫細胞化学分析しました。



フィラミン A (リン酸化 Ser2152) /フィラミン B (リン酸化 Ser2107) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用した。